



端午(たんご)の節句



ゴールデンウィークも終わり、みなさんも心身ともにリフレッシュできたと思います。5月5日は、五節句のひとつである端午の節句でした。空にこいのぼりが泳ぎ、家の中には兜や武者人形を飾って、ちまき(鹿児島ではあくまき)や柏餅をいただきます。「端午」とは、もともと「月の初めの午(うま)の日」という意味でしたが、だんだんと5月5日だけをさすようになりました。



学芸部・生徒会
のみなさんがおす
めの本を紹介してく
れました。

日 和
の 心
摘 摘
よ じ
ど つ
摘 か づ
め に き
摘 摘
の め み 今
摘 つ 日
ま つ こ
ね 歌
ら ば う 頃
ぬ な を
唱 唱
歌 ぬ



茶 摘
夏 も 摘
野 近
あ ね
あ だ
か れ 見
ね に 山
も づ
す え に く
き る も 八
は 若 十
管 茶 葉 八
の 摘 が 夜
笠 じ 茂
や る
な い
か

二十四節気・雑節・八十八夜

二十四節気は、中国から伝わった一年を24に区分した暦の区切り。しかし日本の気候とは微妙なずれがあったため、日本の気候にあった「雑節」が設けられました。二十四節気の「立春」から88日目が見八十八夜。八十八夜も雑節の一つです。ちなみに今年は、5月1日でした。

おすすめ本



心が「ほっ」とする
50の物語
西沢泰生 著



人生はニャンとかなる!
水野敬也+長沼直樹 著



ゆるハムさん
藤本雅秋 写真
坂崎千春 文



13歳のキミへ
高濱正伸 著

図書室より



新学期が始まって1カ月が過ぎました。「心もちょっとお疲れ」って思う人はおすすめ本を手にとってみてください。癒されることまちがいないです。

